

INDEX

1 経営学部の取り組みを紹介

学部・研究科のFD活動を紹介するシリーズの第二弾。今回は、4月4日（金）に開催された経営学部の「学生による学生のためのガイダンス」の様相をお知らせします。

学生の声を伝え、教育および学びの質の向上へつなげることも、FD推進センターの活動のひとつです。

2 期末アンケート実施について（ご案内）

IV期制の学部・研究科で間もなく開始される期末アンケートについて、よくある質問をもとにご案内します。

発行：

法政大学
教育開発支援機構
FD推進センター

ホームページ
<http://www.hoseikyoku.jp/fd/>

問い合わせ先
fd-jimu@hosei.ac.jp

学部・研究科の取り組み掲載のご要望、承ります。

1 経営学部の取り組みを紹介！

学生による学生のためのガイダンス

第2号では、学生サポートの場面でのFD活動事例として経営学部の取り組みをご紹介します。

4月4日（金）に薩埵ホールにて行われた経営学部新入生履修ガイダンス。従来の教職員実施型から一歩進め、今年は学生も説明に参加し先輩の視点で経験談を話す取り組みをはじめました。3名の学生が、高校と大学との勉強方法や生活リズムの違い、履修登録をするにあたっての注意事項、自分が新入生の時に悩んだポイントなど、学生目線からのアドバイスをを行いました。

今回、FD推進センターでは、ガイダンスに同席させていただき、発表者の3名にインタビューをしました。

Q なぜ、今回ガイダンスに参加してみようと思ったのですか。

——自分たちが新入生の時にもガイダンスは受けたいけれども、不安をなくすためにガイダンスに行ったつもりが、実際終わってみると、やるべきことは分かったけど、今何をすべきか不明確で、不安になってしまった経験がありました。その経験から、今すぐできることや大学と高校での考え方の違いを新入生にアドバイスしたかったからです。——

経営学部で学べる学門分野を身近なスマートフォンを例にして説明し、新入生の興味を冒頭から惹きつけていました。学校に決められていた「時間割表」どおりにこなす高校の授業と、自らカスタマイズしてはいけない大学の授業との違いや、履修・単位の考え方を噛み砕いてテンポよく説明し、最後に、3人の実例をもとに、履修モデルの紹介や、海外での学びの機会を活用した事例などを多面的に紹介し、新入生も先輩の話に聞き入っていました。

- 単位をとるだけが授業ではない！
- 自分の興味のアンテナをはろう！
- 投げ出さずに勉強したら、大学生活も違った楽しさがあった！

その思いを伝えた彼らが、終了後に「来年もこの取り組みを後輩に引き継ぎたい」と充足感にあふれた顔で話してくれたのが印象的でした。



普段は授業を「受ける側」である3人の学生。今回、新入生に「伝える」にあたって、どんな感想をもったのでしょうか。

——新入生に伝える際に一番気を付けたことは、専門用語を使わないことです。例えば、「SA」と言ってもピンとこないの、「語学留学」と言い直し、その他には話すスピードにも気を遣いました。



今回の経験を通して、授業を受ける時に何かみなさん自身も変わりますか？

——先生が、授業の中でどこに重点をおいて話しているのか、気になって話を聞くようになると思います。自分が、ガイダンスでポイントを伝えるために色々工夫したからこそ、人の話の本質を聞くヒントが分かったような気がします。

昨今、教育業界でよく登場する用語、「アクティブラーニング」。学生による主体的・能動的な学びの効果が注目を集めています。正課授業について論じられることが多いのですが、今回のガイダンスは、新入生を正課授業の軌道にのせるために、在校生が正課外での活動として取り組んだ効果的な一例であったと思います。

経営学部ではこの他にも、カリキュラム改革の検討、教員相互の授業参観、FD懇談会の開催などを通じて、積極的にFD活動に取り組んでいます。今回は概要のみですが、詳細については、またの機会にご紹介したいと思います。

【カリキュラム改革の議論】

現状のカリキュラムの問題点について、ここ2年間にわたって検討を続けてきました。教員間で、教育理念や現状の問題点を共有し、近い将来に向けたカリキュラム改革のために、相当な時間を費やして検討をしています。

【教員相互の授業参観】

毎年春学期に、教員相互に授業参観できる期間を2週間ほど設定し、他の教員がどのような授業をしているのか参考にしてもらいます。ただ参加するだけでなく、印象に残った点や自分が取り入れてみたい点などをレポートにし、執行部に提出しています。

【FD懇談会の開催】

授業改善アンケートの結果を学部長が確認し、評価の高い先生に依頼して、FD懇談会の場で、どのような授業を行っているかについて報告をしていただいています。



2 期末アンケート実施について（ご案内）

Ⅳ期制の学部・研究科では間もなく開始される期末アンケート。よくある質問についてお答えいたします（Ⅳ期制の学部・研究科以外は、2014年7月2日（水）から7月25日（金）までアンケート実施本部を開設のうえ、実施します）。

・出席学生が全員記入しているのでしょうか。結果を見ると、出席者数よりも少ないような気がします。

→基本的に、記入は学生の任意であるため、出席していた学生が全員記入しているとは限りません。



・アンケート封筒を実施本部から受け取ったものの、授業の進行の都合でアンケート実施時間がとれず、来週に持ち越しとなってしまいました。

封筒は持ち帰っても良いですか？

→アンケート封筒は、実施しなくてもアンケート封筒を配付された場所へ当日中に返却ください。実施本部で、返却のチェックを行ってしますので、戻ってこない場合は、確認のご連絡をさせていただく場合があります。

次週以降に実施する場合も、一度実施本部でお預かりします。